



ふじえだ 市議会 だより

作者：藤枝中学校 望月保乃花さん



滝ノ谷不動
撮影：後藤 かりなさん



菊満開 田中城址 菊花展
撮影：寺田 清さん

Vol.
212

令和元年11月5日



決算特別委員会

9月定例会では、9月19日、20日、24日、25日の4日間で決算特別委員会を開催し、平成30年度一般会計を審査しました。ここでは主な質疑の内容をお知らせします。

決算特別委員会

平成30年度の事業評価
令和2年度予算へ向けて
(7月から10月にかけて)

常任委員会

令和元年度の事業を確認
令和2年度予算へ向けて
(4月から10月にかけて)

提言

予算特別委員会

令和2年度の当初予算審査
(3月)

決算特別委員会、常任委員会
の事業評価、提言が予算に反映
されているか確認

決算特別委員会から
予算特別委員会へ

問 商工費雑入について、ゆらぐの施設整備納付金が収入未済との報告があったが、この理由について伺う。また、行政として会計ルール上、決算認定・行政評価の観点からも適切に行うべきではないか。

答 指定管理者が5月31日に大井川農業協同組合瀬戸谷支店にて振り込みを行った。しかし、大井川農業協同組合の場合、市への納入は青島支店経由となるため、即日納付とはならず、翌営業日の6月3日の納入となったことから、平成30年度決算に反映できなかった。担当者として指定管理者の間で、5月末の納入について、確認が不十分であったため起上ってしまった。決算の締め日に間に合わなかったことは重大な問題ととらえており、指定管理者・職員ともに指導監督を強めていく。

問 シティ・プロモーション推進事業費について、ふじえだガールズ・ミーティングでは、どのような活動を行ったのか伺う。

答 進学等により県外に流出した若い女性に、藤枝に戻り、活躍したいと思ってもらうため、中高生の女性が地元藤枝を知り、愛着を抱く取組を行った。メンバーには中山間地域を含めた藤枝市内を巡り、様々な体験をしてもらい、インスタグラムで藤枝市の良さを発信してもらった。その他、メンバー以外の女子学生が参加できるようにバスツアーなども企画した。



ふじえだガールズ・ミーティングのメンバー

問 空き家対策推進事業費について、市内に特定空き家は存在しないのか崩壊等の恐れのある家の近隣に住む住民の事を考えると、強く指導するべきでないか。

答 特定空き家に近い空き家はあると認識している。管理しなければならぬ義務があることを相続人に認識してもらい、処分の方法を検討してもらうなど、特定空き家にさせないよう積極的に取り組んだ。

問 こども食堂実施支援事業費について、食事を作る人への負担が大きいと聞いているが、事業継続に向けた支援などについて伺う。

答 40人のボランティアを擁してNPO法人化した団体や地区社協と共催している団体などが実施しており、従事する人数や開催回数など状況が異なるので、各団体が地域の協力を得ながら事業を継続できるよう、支援を行った。

認第1号 平成30年度藤枝市一般会計歳入歳出
決算の認定について



問 情報技術が進む中、地方自治システムを統括する上でもスペシャリストの育成が必要と思われるが、情報技術分野の人員の配置について、どのように考えてきたか伺う。

答 学歴や本人の希望により、積極的に若手の職員を情報政策課に配置し、情報技術分野のスペシャリストとしての育成に努めている。さらに、教育部のプログラミング教育の普及をはじめ、各局における大規模なシステム改修や情報機器購入時には、育成した職員を配置するといった、実践的な経験を重ねた上で、再度情報政策課に配置し、指導的役割を担わせることで、必要な人員の確保と配置に努めている。



問 市の中核病院として、重度心身障害者短期入所事業の受入拡大に向け、福祉部門や社会福祉協議会との連携を含めどのように対応しようとしているか伺う。

答 受け入れ先がないために、ご家族がご苦労されていることは十分理解しているが、受入には、個室の確保やケアする専属看護師の配置調整などの準備が必要になるとともに、家庭での状況を保持するための環境整備が必要になるなど、急性期病院として他の入院患者への影響なども考慮すると新たな受入は大変難しい状況にある。後方支援病院である回復期病院や慢性期病院など民間病院と連携する中で、福祉行政とも協力し、受け皿の確保に努めていく。



問 障害者就労支援について、農福連携を含めた取組を伺う。

答 障害者本人の希望や障害の程度に応じた就労先の紹介や、セミナー開催や企業訪問を通じた障害者雇用の周知による就労先の確保に努めた。さらに庁内関係課と連携し、企業や農業者などの雇用側と福祉事業所などの就労側のマッチングなどを行うとともに、職場に適応し、定着して仕事ができるよう、国、県のジョブコーチの支援サービスを活用し、障害者の就労拡大に努める。

問 災害への備えはどこまでできているか。停電の教訓から上水道や簡易水道の断水の状況は、本市の場合、どのように現れると考え、これへの備えはどうなっているか。

答 昨年度の台風24号において、市内各所に停電が発生し、上水道では一部が停電、簡易水道等においては全ての施設が停電した。これに対し上水道課では、常備している発電機に加え、リース調達した発電機により対応し断水には至らなかった。この教訓から、本年度に簡易水道施設に4台の発電機を購入し常設した。送配水場などの上水道施設には非常用発電機を設置しているが、井戸の停電に備え、発電機を更に取り出し設置していく予定である。なお、停電が長期化した場合、発電機への燃料供給が重要となるが、災害時資材調達先として石油商組合との協定により調達する。



決算特別委員会の様子

常任委員会

9月18日、各常任委員会で行われた令和元年度一般会計補正予算や条例改正などの審査の中から主な質疑の内容をお知らせします。

総務文教委員会

第56号議案「令和元年度藤枝市一般会計補正予算(第3号)」

問 総合運動公園維持管理費について、「J2ライゼンズに必要なスタジアム基準について何う。」

答 今後必要な主な基準として、「照度1500ルクス以上の照明」、「独立したドーピングコントロール室の設置」、「10000席以上の固定席」、「大型映像装置」、「全座席を屋根で覆うこと」が挙げられる。「照明の改修」と「ドーピングコントロール室の設置」については今年度内に対応予定である。残りの3つについては、特例措置として3年間の猶予が認められている。

第63号議案「藤枝市印鑑条例の一部を改正する条例」

問 法改正による市民のメリットについて何う。

答 旧姓での本人証明が取得できることにより、旧姓の時期に交わした契約や開設した銀行口座などが名義変更することなく継続して利用できる。

現地審査



青葉町ふれあい広場

健康福祉委員会

認第2号「平成30年度藤枝市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について」

問 後期高齢者医療スタート前には60%を超えていた特定健診受診率が現在は50%を切っている。若い世代の受診率が低いと思われるが、受診率向上への今後の取組について何う。

答 平成29年度特定健診受診率は男性が45・2%、女性が52・3%であり、男性の受診率を向上させる必要があるため、本年度より「女性保健委員」の名称を「保健委員」に改め、来年度以降、男性の保健委員の割合を増やし、地域で活躍してもらうことで、男性の受診率を向上させていきたい。

認第8号「平成30年度藤枝市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について」

問 成年後見制度について、相続の法律等が改正される中、成年後見については今後重要性を帯びてくると考える。社会福祉協議会へ委託しているが、市としてどのように取り組んでいくか何う。

答 制度の啓発、相談業務、市民後見人の養成などを平成27年度より社会福祉協議会に委託しているが、今後、制度利用者が増加することを踏まえ、市民後見人の養成や受任調整など後見制度の推進について、3市1町の広域で行政と社会福祉協議会が協働して積極的に取り組んでいく。

現地調査



藤枝市立総合病院

建設経済環境委員会

第56号議案「令和元年度藤枝市一般会計補正予算(第3号)」

問 水路改良費について、現地審査にて確認した横内の上流部に住宅が4件ほどあるが、そこからも修繕を求める声が出てくると思うがどうか何う。

答 現地審査で確認した箇所は下流部であるため、ここを修繕することで流れが改良されると考えている。

第58号議案「令和元年度藤枝市土地取得特別会計補正予算(第1号)」

問 (仮称)クリーンセンターの付帯設備のための土地取得だが、物販施設の運用開始後の継続性について何う。

答 防災拠点施設や物販施設といった要望が出てくる段階なので、今後地元と協議をしながら進めていく。

現地審査



藤枝市観光案内所

9月定例会で審議された議案

◆全会一致・全員一致で原案認定・可決・同意された議案◆

議案番号	案 件
認第1号	平成30年度藤枝市一般会計歳入歳出決算の認定について
認第2号	平成30年度藤枝市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認第3号	平成30年度藤枝市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認第4号	平成30年度藤枝市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について
認第5号	平成30年度藤枝市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認第6号	平成30年度藤枝市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認第7号	平成30年度藤枝市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認第8号	平成30年度藤枝市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
認第9号	平成30年度藤枝市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
認第10号	平成30年度藤枝市内陸フロンティア事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認第12号	平成30年度藤枝市水道事業会計決算の認定について
第56号議案	令和元年度藤枝市一般会計補正予算（第3号）
第57号議案	令和元年度藤枝市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
第58号議案	令和元年度藤枝市土地取得特別会計補正予算（第1号）
第59号議案	令和元年度藤枝市介護保険特別会計補正予算（第2号）
第60号議案	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
第61号議案	藤枝市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例
第62号議案	藤枝市消防団条例の一部を改正する条例
第63号議案	藤枝市印鑑条例の一部を改正する条例
第64号議案	藤枝市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
第65号議案	藤枝市子ども・子育て支援法に基づく過料を定める条例の一部を改正する条例
第66号議案	藤枝市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例
第67号議案	県営土地改良事業分担金徴収条例の一部を改正する条例
第68号議案	藤枝市手数料徴収条例の一部を改正する条例
第69号議案	藤枝市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例
第70号議案	藤枝市水道事業給水条例の一部を改正する条例
第71号議案	市道路線の認定について
第72号議案	固定資産評価審査委員会委員の選任について
第73号議案	教育委員会委員の任命について
発議案第13号	地震財特法の延長に関する意見書
発議案第14号	高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書
発議案第15号	中央新幹線建設における大井川水系の水資源の保全に関する意見書（国へ）
発議案第16号	中央新幹線建設における大井川水系の水資源の保全に関する意見書（県へ）

◆賛否の分かれた議案◆

○賛成 ×反対 一欠席

議案番号	議員名（議席順） 案件・結果	八木	増田	遠藤	天野	深津	神戸	多田	油井	鈴木	平井	石井	山本	松崎	山根	小林	岡村	大石	大石	植田	藪崎
		勝	克彦	久仁雄	正孝	寧子	好伸	晃	和行	岳幸	登	通春	信行	周一	一	和彦	好男	信生	保幸	裕明	幸裕
認第11号	平成30年度藤枝市病院事業会計決算の認定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○	×	○	○	※

※議長は採決には加われません。

本会議の 討 論

9月定例会では、賛否の分かれた議案について討論が行われました。ここでは、その一部を掲載します。

認第11号

平成30年度藤枝市病院事業会計
決算の認定について

反対 石井通春議員

昨年、市民の声も聴かず病院の負担増も把握しておきながら患者給食の委託が強行された。

安定的な経営、人手不足の解消等、委託の理由を説明してきましたが、結果は無残であった。

4月1日から市の病院職員が毎日厨房業務に就かないと配膳できない事態が7カ月余も続き、人手不足は更に深刻となった。

こうした教訓に何も学ばず、来年度以降も委託を継続すると決定している。委託で業者が食材調達する事になるが、それでも病院食の質は直営時と同等以上になると説明しておきながら、再度病院が調達すると変更するなど事前の説明と整合性もついていない。こうした決算を認定すればまた同じ過

賛成 植田裕明議員

ちを議会が許すことになり反対する。

患者給食の委託は、年度当初から11月上旬まで、病院管理栄養士による現場支援が続くなど、委託業者による不手際があったものの、それ以降、完全に委託業者による安定した給食の提供が行われている。

健康福祉委員会では、病院給食の試食の機会を持ったが、委員全員、質に問題なしで意見一致し、直営時と遜色のないものと考えている。

また、委託化の目的である「管理栄養士による栄養指導」の実施件数も順調に増加しており、栄養指導の確実な増加は、患者の治療へ大きく寄与しているものといえる。

30年度の経営面では、1人1日当たりの診療単価が入院外来ともに前年度に比べて増額し、2年連

続で黒字決算となっている点も評価されるべきものである。

国の進める医療政策にともない、県が策定した「地域医療構想」や「第8次静岡県保健医療計画」では、急性期病床の抑制や回復期病床への移行等が示されるなど、厳しい局面を迎えている。

このような情勢の中、市立総合病院は、「質が高く、安心・安全な医療を継続して提供する急性期病院」をめざして、病院スタッフ一丸となって医療の充実に取り組んでおり、経営改善に資するという成果を上げているものと認識するところであり、本決算に賛成する。



可決された議員発議

今定例会において、議員提出による発議案（意見書4件）が提出され、原案のとおり可決しましたのでお知らせします。詳細はQRコードからご覧ください。

◆発議案第13号

地震財特法の延長に関する意見書



◆発議案第14号

高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書



◆発議案第15号

中央新幹線建設における大井川水系の水資源の保全に関する意見書（国へ）



◆発議案第16号

中央新幹線建設における大井川水系の水資源の保全に関する意見書（県へ）



人事案件

次の人事案件について、本議会は、同意しました。

●第72号議案

固定資産評価審査委員会委員

松浦伸一さん（大新島）

●第73号議案

教育委員会委員

牧田伸明さん（大洲）



日本共産党

石井 通春 議員



高洲南小隣接、KDDI携帯基地局

問 高洲南小北側にWHOが「発がん性の可能性がある」としている携帯基地局の建設計画がある。

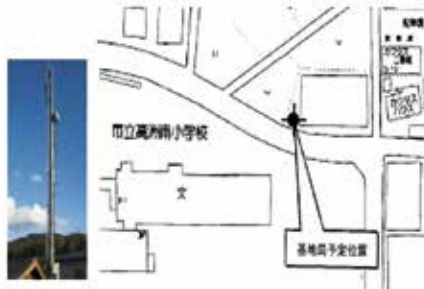
KDDIや総務省は「安全だ」「健康に心配ない」と説明するが、電磁波の有害性は目を追うごとに現実性を増しているのが世界の現状ではないか。

☎ 調査は現在進行形と認識している。国の見解に関わらず情報の収集に努める。

問 全国各地で、めまい、不眠、耳鳴り等の健康被害が出ており訴訟も起こされている。基地局による健康被害がある証ではないか。

☎ 健康被害の可能性が全くないと言い切れない。今後の調査や研究の進展を注視する。

問 「環境日本一」を標榜する本市なら、予防原則



KDDI説明資料より

の立場で規制すべき。基地局は必要だが小学校のすぐ近くに建設が許されるのか。

☎ 計画されている場所へ設置が必要かどうか住民に説明することを要請する。市独自で現地調査等実施することも今後検討する。

子供の安全を確保した幼保無償化を

問 幼保無償化は社会的前進だが問題がある。一つは無償化対象外の3歳未満児は消費税増税で負担増となるだけ。独自減免を検討すべきではないか。

☎ 無償化は国策であり国県で基準を統一すべきである。

問 地域の実情に応じて議論するのが地方議会だ。国策と言い事実上議論しない態度は正しいのか。

☎ 今後も一律であるべきという事を踏まえつつ、子供子育て支援政策の中で判断していく。

問 無償化実施後5年間は経過措置として、保育士がいない施設等認可外施設基準すら満たさなくても無償化対象となる。幼児の命の危険が増す。条例を制定し対象外とすべきだ。

☎ 夜間保育等を利用せざるを得ない親との公平性から条例は考えていない。危険性が増す事態になれば独自に対応する。

問 給食の副食費(おかず代)が無償化対象外となり親の負担となる。保育園の給食は保育の一環であり無償化の対象とすべきではないか。

☎ 給食は国策、国県が統一すべき基準である。



公明党

大石 保幸 議員



国道1号藤枝バイパス4車線化に関連して

問 2016年に事業化が決定して以降、待ち望まれていた工事

開始だが、本年4月に藤枝バイパス4車線化に向けた工事を2019年度中に着工するという報道がなされた。工事の着工時期が示されたとはいえ今後も要望活動を行っていくことになるが、現段階で公表できる今後の予定について伺う。

☎ 国道1号藤枝バイパスの4車線化は、これからの市の発展に欠くことのできないプロジェクトであり、様々な機会^{うらら}で要望活動を実施してきた。

2019年度では潮地区の工事着手の他、詳細設計や地質調査が計画されている。一刻も早い完成に向けて引き続き要望活動を展開していく。

問 谷稲葉インターチェンジにある「うぐいすパーキングエリア」を整備し、「道の駅」としていくことは出来ないか。

☎ 「うぐいすパーキングエリア」は供用開始から7年余りが経過し、再整備を検討する機会と捉えている。市の西の玄関口として新たな交流やにぎわいを創出する拠点となる可能性を有しており、他施設

との差別化・共存化を念頭に地域の皆さんの意見を踏まえながら検討していく。

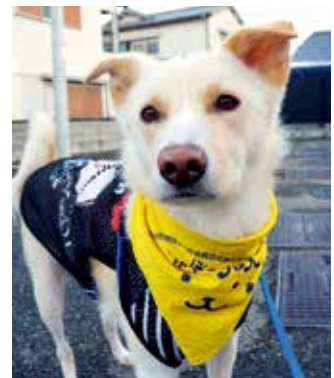
様々な見守りへの取組について

問 市では「ながら見守り」としてウォーキングをしながらの見守り「みまもりウォーカー」を実施しているが、開始年度からの登録者の推移を伺う。

☎ 「藤枝みまもりウォーカー」は平成25年度の市民政策提案で実現した。25年度末は254人だったが30年度末では617人になっている。

問 ながら見守りとして①花への水やりや手入れをしながらの見守り、と②犬の散歩をしながらの見守り、を実施できないか。

☎ ①では「まち美化里親団体」に②では狂犬病予防注射などの機会を捉え、見守り活動参加への案内をしていく。見守りが効果を発揮するためには、より多くの目で見守ることが重要であり、一人でも多くの市民の方が「ながら見守り」に協力していただけるよう積極的に働き掛けていく。



見守り犬のバンダナを巻いた和歌山市のパトロール犬



日本共産党
大石 信生 議員



自由にもものが言え、自由にも表現できる市政に

問 憲政史上、最も憲法をないがしろにしている安倍政権の下で、憲法に明記されている国民の「知る権利」や「表現の自由」が踏みにじられる事件が国政だけでなく、地方政治でも、相次いで起こっている。そこで聞かすが、国に憲法遵守義務があるのと同じく自治体にも憲法を守る義務があると思うが、如何か。

答 市に憲法を守る義務があることは論を待たない。

問 明確な答弁である。口で言うのは簡単だが、藤枝市でも憲法に違反する行為が実際に起きている。志広組が建設予定の大井川環境センター（し尿処理場）は約80億円だが、入札で10億円安い方の業者が除かれた。石井みちはる議員が開示請求したが、除かれた業者の提案が黒塗りで公開された。これは市民の「知る権利」を踏みにじるもので、かえって疑惑が出てくる問題だ。市は構成団体として、開示させるべきではないか。

答 志広組の情報公開審査会に請求したらどうか。

問 今一つ、市立病院の給食業者5社とのヒアリング記録が公開されなかった問題も、市民の「知る権

利」が踏みにじられた大問題だった。病院の幹部職員2名が「処分」されたものの、本質的な解明はされていない。公開された文書は、「官製談合疑惑」をごまかすためにつくられた偽文書で、情報公開審査会も報告書で有名になった「齟齬はない」と病院を救った。今後課題を残している。

答 情報公開審査会は、できる限りのことはしたし、病院職員にも悪意はなかったと考えている。

問 市の施設の外で「政治的」との理由で市民団体のピラ配布が締め出された。これは今後起こらないと明言できるか。

答 単に「政治的」ということで、ピラ配布に不当な差別をすることは、正しくないと思う。

問 市が関わる市民文化祭などで、「政治的」とか「政治的中立性」を理由に、表現に制約が加えられたりすることは起こってはならないと思うが、どうか。

答 「表現の自由」は国民の最も基本的な権利であって、規制されるべきではないと考える。

問 市民が出した文章に市が手を加える過程で、検閲と疑われることを起こしてはならないと思うが、

答 検閲や検閲と疑われるような行為をしないことは、公務員として当然で、慎重に対処していきたい。



黒塗りで開示された文書



志太創生会
平井 登 議員



「ほどよく田舎」の農地保全・景観保全対策について

問 『農業農村振興ビジョン・推進プログラム』の目標面積等に対し取組状況を伺う。

答 「農業の多面的機能の維持」を重点取組に位置付け、農業者と非農業者が一体となり地域コミュニティを形成しながら農地や農業用施設の維持管理などを行う「多面的機能支払交付金事業」に取り組み、昨年度は9地区9団体により約185haが実施対象となった。また、岡部町殿地区の団体ではコスモス畑や虫送りといった農村文化の伝承、本郷地区の団体ではピオトープによる自然環境保全など、地域の魅力向上に繋がる取組も行われている。

問 事業対象の優良農地に隣接する所に耕作放棄地が年々増加し景観悪化や災害危険等の弊害が拡大しているが対策を伺う。

答 青地と一体となって機能している白地の農地の保全は重要であるので、多面的交付金の対象地の拡大に向け取組団体と検討する。

問 取組団体の高齢化とともに作業の重労働感や事務処理の煩雑感が高じてきているが新たな支援策はあ

るか伺う。

答 高齢化や人手不足により環境保全活動が困難な地域について、不足する労働力を補うための市独自の支援施策を早急に検討するとともに、国・県に対し制度創設を要請していく。また、事務については取組団体の意見を伺う中で、事務の外部委託の検討を進めるとともに、実情に見合った要件の緩和や事務の簡素化など早急に検討し、取組団体の負担軽減を国へ要望していく。

問 耕作放棄地や遊休農地を有効活用するために、移住希望者に対し「家庭菜園を無償提供」、「農地付きの就農支援」といった特典で移住・定住を促進する施策を望むがどうか。

答 国も「農地付き空き家の手引き」を発行し、移住・定住の拡大に向けた農地の活用を推奨している。実施中の空き家バンクの情報に加え、農地付き家屋の情報を発信する体制を早急に整えるとともに、そうした物件の掘り起こしを図り、市への移住・定住の促進を強力に推進していく。



耕作放棄により農地保全・景観保全等に悪影響が...



藤新会

植田 裕明 議員



本市における交通の課題について
～交通安全日本一をめざして～

問 「交通安全日本一」の諸施策の状況は？

答 交通事故が起こらない環境づくりに向け、自治会や警察と連携して、市内の交通環境を把握するとともに、地域の要望や小中学校などの安全点検に基づく交通安全施設の整備を着実に進めている。

6月議会で2,000万円を補正し、幼稚園、保育園の通園路等、危険度が高い個所に安全施設整備事業を進めるほか、市民の交通安全意識の高揚に向けて、本年度の新たな取組として、ドライブレコーダーの設置費用の補助を全国に先駆けて開始した。

消費税増税に係る影響について

問 本市経済界への影響は？

答 規模が小さい企業ほどマイナスの影響が見込まれるとの調査結果が出ており、市としても、商工会議所や商工会、金融機関などをはじめとした支援機関とともに、情報共有や動向の注視を行い、消費維持・向上に向けた対策を実施している。

増税後も引き続き、市内企業へのアフターフォローを継続するとともに、国が行う緊急経済対策の積極的な活用や、国の補助事業を実施する市内中小企業に対して、国と市が一体となった本市独自の補助金を交付するなど、生産性の向上に資する施策を総合的に推進していく。

問 医療費は免税であるため、消費税は支払っても、消費税分の収入はほとんど入らない。増税は病院経営にとって深刻な問題である。対策は？

答 本年度当初予算で試算すると、同年ベースの支出では、約1億5,900万円の増加と見込んでいる。

全国の病院に共通した制度上の問題点があるので、増税に対応した今回の診療報酬改定を注視するとともに、国に対し、抜本的な見直しを行うよう、全国市長会を通じて強く要望を重ねていることから、引き続き病院の安定経営に向けて、粘り強く要望活動を続けていく。



市民クラブ

鈴木 岳幸 議員



キャッシュレス化への対応について

問 10月からの消費増税により、キャッシュレス決済する消費者にはポイント還元が行われる為、キャッシュレス化が広がっているが、市内事業者へのキャッシュレス導入支援はできているか、伺います。

答 本市では商工会議所などと連携し、セミナーや巡回相談、キャッシュレス事業者による説明会などを開催し導入支援を行い、QRコード決済を利用可能な店舗が600店舗以上となりました。今後も消費増税が、マイナスでなくプラスに転じるよう、関係団体と協議会を立ち上げ、市内すべての事業者の商取引拡大につなげるべく、支援してまいります。

問 市税の納付における、キャッシュレス決済を導入することはできるか、伺います。
答 近年、市税の納付にスマホを利用した電子決済を導入する自治体も出てきています。キャッシュレス決済により、納税者の利便性向上が大いに期待される事から、導入費用等を精査し、新たなキャッシュレス決済の導入に向け、取り組んでまいります。



キャッシュレス決済が今後さらに広がります

問 噴水やじゃぶじゃぶ池などの水遊びのできる場所を公園に設置することはできないか、伺います。
答 今は2か所の公園に水遊び場があります。小さな公園にはスペースや費用面の問題もあり予定はありませんが、新たに造る大きな公園については市民ニーズや安全面を考慮して身近に水に接する施設の設置について検討していきます。

問 夏休みの小学校のプール開放を、行っていない学校もありますが、すべての学校で行う事はできないか、伺います。
答 本年度は、小学校17校中、13校でプール開放を行いました。猛暑による熱中症の危険性もあり、減らしたり、中止する学校もありました。今後のプール開放については、地元の要望もあるので、各学校にて保護者や地域と十分に協議しながら、対応してまいります。

プールや公園などの水遊び場の利用について

問 噴水やじゃぶじゃぶ池などの水遊びのできる場所を公園に設置することはできないか、伺います。

答 本年度は、小学校17校中、13校でプール開放を行いました。猛暑による熱中症の危険性もあり、減らしたり、中止する学校もありました。今後のプール開放については、地元の要望もあるので、各学校にて保護者や地域と十分に協議しながら、対応してまいります。

問 噴水やじゃぶじゃぶ池などの水遊びのできる場所を公園に設置することはできないか、伺います。

答 今は2か所の公園に水遊び場があります。小さな公園にはスペースや費用面の問題もあり予定はありませんが、新たに造る大きな公園については市民ニーズや安全面を考慮して身近に水に接する施設の設置について検討していきます。



無会派
天野 正孝 議員



市民協働の福祉のまちづくりについて

問 課のまたがる困難ケースへの連携を伺う。

答 困難ケースの対応については、庁内の関係課との情報共有や警察署や保健所など県の機関や医療機関、地域の民生委員などと随時対応に係る会議を開催している。制度の見直しや財政支援等が必要な場合には、国・県に対し積極的に要望していく。

問 市民団体との今後の連携について伺う。

答 それぞれの分野で所管している協議会等において市民団体に参画していただき、情報交換や事例検討などにより連携を深めていく。また、支援をしたいと考えている団体や個人には、支援内容を確認したうえで個別にマッチングができるよう関係課が窓口となり対応していく。

問 社会福祉協議会等との連携について伺う。

答 本市は、市社会福祉協議会とは、相互の人事交流による連携強化のもと、生活支援コーディネーターの配置や成年後見制度の利用促進、居場所づくり等の地域福祉活動を推進している。

問 今後市民協働との中でどのように考えるか。

答 ボランティアやNPO法人など多様な主体と協働するとともに市民相互の支え合い機能を強化し協働によるまちづくりを推進していく。

問 市の戦略の中に「市民協働による福祉」を追加することができないか伺う。

答 4つのKの重点施策をはじめ、各分野の施策をさらに磨き前進させていくことが、市民全体の「福祉」の向上につながるものと確信している。今後も、多分野にわたる「地域共生社会」の実現を市民とともに進め、新しい時代も「選ばれ続けるまち」を目指していく。



市民クラブ
八木 勝 議員



藤枝市観光基本計画と藤枝大祭りについて

問 「藤枝大祭り」に変更した理由と位置付けについて。

答 かつては「飽波神社大祭」と呼ばれ、旧藤枝宿エリアである藤枝地区で行われてきた伝統行事であるが、藤枝大祭連合会が、単に藤枝地区のお祭りで終わらせるのではなく、本市の観光資源として、市全体を盛り上げていきたいという思いから、平成4年に「藤枝大祭り」に名称を変更した。市としても貴重な文化・観光資源として、全市民で共有し、伝統を受け継ぐとともに、観光を核としたまちづくりに効果的に活用していく。

問 山車にGPSを付け市民にも観光客に対しても位置や運行状況をリアルタイムに発信できる仕組みがあれば更に盛り上がるのでは。

答 AIやIoTなど新技术をまちづくりに取り入れたスマートシティを目指す本市として、藤枝大祭りへのIoT技術の導入は、観光客の増加に繋がるとともに、快適、便利な質の高い暮らしと都市空間の創出に貢献するものとする。

したがいまして、次回の大祭りに向け、システム

の導入について、藤枝大祭連合会などの関係者とともに検討していく。

問 今後を考えるとやはり担い手の確保が最優先課題と考えるが、「愛郷心を育む」という観点から子供たちの学校教育に導入しては。

答 私も小学生などの児童から、郷土が誇る、伝統の藤枝大祭りを学ぶことは非常に大切なことと感じている。現在、本市の小学校3・4年生の社会化資料集「わたしたちのまち 藤枝市」には、藤枝大祭りの内容が掲載されている。

全国の祭りが担い手不足を理由に、その存続が困難となる中、子どものころから藤枝大祭りを、市内全校の小中学校で、学び、知り、興味を持ち、そして、将来の担い手となっていただけるよう、積極的に取り組んでまいりたいと考えている。



藤枝大祭り



公明党

山本 信行 議員



移住・定住・来訪人口拡大と利便性向上

問 ホームページリニューアル後の所見を伺う。

答 昨年度、パソコン版のホームページの内容を、スマートフォンでも同様にスムーズに閲覧できるよう、ホームページのリニューアルを行ったが、引越しのアイコンから転入者に必要な手続きをはじめ、教育、防災、ゴミ出しなど直ちに点検し、リンクを張る工夫をしていく。

問 防災無線が放送されると、自動的にホームページ上に内容が掲載されるシステムを伺う。

答 最近はホームページを見られる方も多いので、実施する方向で検討していく。

問 よくある質問や、あると想定される質問と答を各課で共有するFAQシステムについて伺う。

答 お客様の利便性向上に繋がることから、今後、研究していく。

問 コールセンターの設置や、24時間いつでも相談出来るラインチャットボットの構築を伺う。

答 FAQを活用したコールセンターや、AIチャットボットは市民サービスの向上に繋がる事から、将

来的な導入について研究していく。

問 本市の事業所や店舗、市の納税、手数料や使用料等、キャッシュレス化を推進すべき。所見を伺う。

答 スマートシティのモデル都市として、本市においても先駆的に取り組む必要がある。

キャッシュレス化は、市民の利便性を高めるものであり、景気対策などにも必要である。

支払時の利便性向上が消費や交流人口の拡大、民間のサービスや投資の拡大にも繋がり、消費面のみならず、市役所や事業所の省力化などにも繋がるものであることから、市役所や民間サービスに導入を推進し、市民の皆様の質の高い暮らしを実現していく。

問 キャッシュレス決済の知識を、若年層も含めた消費者へ、教育や周知など積極的な取り組みを伺う。

答 キャッシュレス社会を迎えるにあたり、若い世代が金銭感覚を身につける教育は重要である。

来年から新学習指導要領が始まり、消費者教育の充実が謳われているので、キャッシュレス社会の注意

点など盛りこみ、消費者教育を充実していく。



志太創生会

遠藤久仁雄 議員



今、「学校図書館司書」の活用が求められている

問 読書の大切さを、どのように評価しているか。

答 多くの知識や論理的な考え方を学ぶほか、豊かな心を育む情操教育につながる大切な活動と考えている。そこで市長就任直後の平成21年度に「学校図書館司書」の配置を開始し、平成23年度には市内全ての小中学校への配置を行った。

問 市内小中学校に勤務する「学校図書館司書」の勤務実態を市としてどのように把握しているのか。

答 現在、14人の「学校図書館司書」が27の小中学校に勤務している。子供たちへの本の紹介、図書の分類、ラベル張り替え、書架の整理、本の修復、「図書だより」の作成・配布など、多岐にわたる業務を、1日4時間の勤務時間の中で、学校と連絡を取りつつ精力的に行っている。

問 私は、先の志太教育研究会を傍聴させていただいた。図書館教育に関する司書教諭の研究発表であったが、その中で「学校図書館司書」の仕事ぶりに対し、多くの評価と感謝の言葉が聞かれたのが印象的だった。この発言に対してのご感想を伺いたい。

答 一般の先生も同じ気持ちだと思う。子供も含め、みんなが「学校図書館司書」に感謝している。

問 このように「学校図書館司書」は多くの業務を抱え、多忙である。1日にわずか4時間勤務で、しかもほとんど全員が2校を兼務している状態である。この勤務形態について、どう考えているか。

答 2校での兼務や、大規模校の勤務については、特に負担が大きいものと考えている。

問 総合的な学習などの調べ学習の時間や、昼休みなど、「学校図書館司書」が図書館にいてくれないと大変困ると思うがどうか。

答 調べ学習ではアドバイスを、また昼休みも図書館を楽しみにしている子供に話しかけてもらえる。

問 焼津市は、1人が1校に勤務。島田市と藤枝市は、1人が2校を兼務している。藤枝市の学校に適した形で、1人1校の勤務形態を希望する。

答 読書教育への意識の高い人材を「学校図書館司書」として確保することが課題だ。現場の声を聞いて、効率的、効果的な司書の配置を考えたい。全校1人の体制が必要なら、踏み切りたいと思っている。



司書さんの手で、利用しやすいきれいな学校図書館



志太創生会
増田 克彦 議員



移住定住の促進について

問 シティ・プロモーションの展開と実績を伺う。

「ほどよく都会、ほどよく田舎」「子育てするなら藤枝」などのキャッチフレーズを用いて移住ガイドの作成や民間のアイデアと発信力を活かしたプロモーション事業を進め、様々なスタイルや場所、媒体で売り込みを実施している。コンパクトシティ推進、ICT活用などでは国からも評価され、スマートシティのモデル都市に指定された。これに関連して市長がASEAN会議でスピーチをし、アピールする予定。



本市HPの「藤枝スタイル」のサイト

問 移住促進策の現状と手応えを伺う。

静岡県移住相談センターで独自の相談会を開くなど積極的に本市の魅力伝えて。移住相談件数は県下で1位となっている。昨年度は「子育てファミリー移住定住推進事業」という補助金制度を利用して市外から移住された方が82世帯、賃貸から新居を構えた方が119世帯と実績を上げた。本年7月からは「仲良し夫婦移住定住推進事業」という新たな補助金制度も

新設した。

問 UIJターンにつながる雇用創生の取組と現状を伺う。

①テレワーク・サテライトオフィスの現状と将来性を伺う。
 ㊤ テレワークはクラウドソーシングを推進している。本市が優位性を持つICT親和度で差別化し大手企業のサテライトオフィスの誘致を進める。

②女性のUターン就職が少ない現状と対策を伺う。

㊤ 全国的な課題であるが、本市として女性が活躍できる仕事の選択肢を増やしていくこと、若い女性が求める働きやすい環境を整えることで女性のUIJターン就職に結び付けたい。

③ママスクエアの現状と今後の展開について伺う。

㊤ 子供のそばで安心して働ける環境づくりとして全国的に注目されている。10月から「マインターンシップ事業」をスタートさせ仕事と育児の両立への不安解消を図っていく。

消費税増税に伴う施策について

問 軽減税率対応への市のサポートを伺う。

㊤ 複数税率対応のレジ購入への補助を行っている。キャッシュレス導入のために商工会議所と連携しての説明会を開催するなど、市内小売店への支援を進める。

問 景気向上策について伺う。

㊤ 景気対策特別貸付金、設備等導入補助金などの活用を促進する。中小企業振興推進会議にて「藤枝形キャリア教育プログラム」の構築を進める。



藤新会
深津 寧子 議員



藤枝市のお茶について

問 藤枝ジュニアお茶博士などの文化的取組について。

お茶どころ藤枝に育つ小学生にお茶を愛飲してもらうための「藤枝ジュニアお茶・博士」は延べ385人を認定。各種イベントに参加し呈茶サービスを行うなどの活躍をしている。また、ジュニア博士・大使の卒業生の中から中高生10名で、「藤枝茶業研究会」を構成。より専門的な講座や、体験学習などを通じてお茶の知識を習得し、次世代を担う人材の育成に取り組んでいる。

問 藤枝茶の現状と今後の推進について。

お茶は市の「宝」である。しかしお茶業界を取り巻く現状は大変に厳しく、生産者の高齢化や茶価の低迷などにより、本県の生産量、摘採量面積ともに過去最低水準となっている。これからも「藤枝茶を継承する茶業経営体の育成」、「藤枝茶の需要創出と消費拡大」、「魅力溢れる藤枝茶文化の情



報発信と振興」を掲げ、茶産業の発展に全力で取り組み、次代に引き継ぐため、生産者、茶商、JAと行政が密接に連携し茶産業全体の活性化に努めていく。

小中学校区について

問 学区についてのこれまでの議論と経緯について。

㊤ 学区の設定は「藤枝市立小中学校通学区域設定基準」に基づいて自治会又は町内会を単位として定めている。境界の変更については、地元自治会から要望があった場合に「通学区域審議会」での審議を経て決定している。

問 今後の児童生徒数も踏まえて、学区についての最適な考え方は。

㊤ 登下校時の安全への配慮と、地域のつながりを基本とすることに変わりないが、人口動態の変化による学校間の児童生徒数の偏りは大きな課題であると認識している。弾力化地区の設定や学区の再編などが課題解消のための方策の一つとして考えられるが、地域行事への参加や防災体制の確立といった、自治会・町内会の結びつきも重要であるため、多面的に検討していく必要がある。行政のみで検討するのではなく、地域と協議を重ねる必要があると考えている。



常任委員会等の所管事務調査



各委員会では、先進都市等の視察を行っています。

議会運営委員会

令和元年7月16日～17日

- 滋賀県長浜市
議会改革の取り組みについて
- 愛知県岩倉市
議会改革の取り組みについて



総務文教委員会

令和元年7月25日～26日

- 福岡県大野城市
総合窓口の運営について
- 福岡県福岡市
福岡市実証実験フルサポート事業「キャッシュレス」プロジェクトについて



健康福祉委員会

令和元年7月29日～31日

- 東京都東大和市
日本一子育てしやすいまちづくりへの取組について
- 医療型短期入所施設『もみじの家』（東京都世田谷区）
医療的ケアを必要とする子どもとその家族への支援について
- 秋田県横手市
健康寿命日本一の達成に向けた特色ある健康施策について



建設経済環境委員会

令和元年7月30日～31日

- 埼玉県草加市
そうかりノベーションまちづくり事業について
- 千葉県野田市
 - ・ 移動販売車「まごころ便」について
 - ・ まめバスについて



議会改革特別委員会

令和元年8月5日～6日

- 三重県四日市市
 - ・ 通年議会について
 - ・ 議会改革度調査2018ランキング3位の取組内容等について
- 三重県伊賀市
議会改革度調査2018ランキング21位（前年度より48位アップ）の取組について



広報広聴委員会

令和元年8月7日～8日

- 千葉県成田市
議会だよりの編集・発行について
- 埼玉県寄居町
議会だよりの編集・発行について（町村議会広報全国コンクールにて2年連続で最優秀賞）



市民との意見交換会
「開かれた議会を目指して」

令和元年度

議会タウンミーティングを開催

市議会では、直接市民へ議会活動の状況を報告し、議会や行政に対するご意見、ご提言を聞く貴重な場として議会タウンミーティングを開催しました。

参加された88名の皆様からいただいた貴重なご意見、ご要望は、今後の議会活動の参考とさせていただきますとともに、市の施策に関わる事項については、藪崎幸裕議長から北村正平市長に申し入れを行い、引き続き、その速やかな対応を求めています。また、地域のイベント等と重なってしまうため、議会タウンミーティングの開催時期を変更してほしいというご意見を多くいただきましたので、今後検討してまいります。

ご来場いただきました皆様、ありがとうございました。

◆令和元年10月5日(土) 14時～
青島南地区交流センター

◆令和元年10月14日(月祝) 14時～
瀬戸谷地区交流センター、市役所5階大会議室

※令和元年10月12日(土)高洲地区交流センターで開催する予定でありました議会タウンミーティングは、台風19号のため延期しました。



藤枝市役所での様子

10月5日(土)、14日(月祝)に開催された 議会タウンミーティングでのアンケートより

- 議会になかなか行けないので、タウンミーティングの開催はよい。
- ある程度、議題を先に挙げてから始めてもよいのかなと思う。
- 意見交換(要望事項等)が活発に行われ参考になった。
- 初めて参加したが、有意義な時間を過ごすことができた。
- 現状の代弁ではなく、主体的な答弁をしてほしかった。
- タウンミーティングが地域的テーマとなり、昨年より充実してきたような気がする。やはり地元の意見を聞くのは参考になるし出席してよかった。
- 市民の皆様の多数の意見が聞けて良かった。台風についての避難場所、河川の問題など聞きたかったこともありよかった。
- 防災関係について、町内会定例会に出席してもらって話してもらうのもよいと思う。
- いろいろな意見があって、大いに参考になった。議員の回答も明解で説得力があってよかった。



応募写真コーナー



蓮華寺池公園
撮影：朝比奈 房子さん



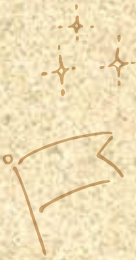
藤枝花火大会
撮影：西谷 隆さん



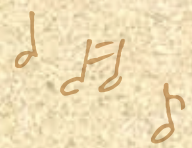
「灯籠流し」内瀬戸谷川
撮影：西谷 隆さん



「灯籠流し」内瀬戸谷川
撮影：小長谷 充朗さん



蓮華寺池公園
撮影：三輪 聡さん



「がんばろう日本」田中城址 菊花展
撮影：寺田 清さん



蓮華寺池公園
撮影：後藤 かりなさん



蓮華寺池公園
撮影：後藤 かりなさん



11月市議会定例会

11月市議会定例会は、11月25日から12月19日までの25日間の会期で開かれる予定です。

- 11月25日 本会議 1日目 議案上程
- 12月 4日 本会議 2日目 一般質問
- 5日 本会議 3日目 一般質問
- 6日 本会議 4日目 一般質問・議案質疑
- 9日 現地審査
- 10日 常任委員会
- 11日 常任委員会
- 19日 本会議 5日目 討論・採決



※本会議は市議会HP（生中継）からもご覧いただけます。

議会を傍聴しませんか

市民の生活に直結した重要な問題が審議されます。

議会は、どなたでも傍聴することができます。お気軽にお越しください。

受付にて傍聴券を受けとって傍聴します。住所、氏名などを記入していただく必要はありません。



議会だより表紙の写真・イラスト等募集！

市議会では、年4回（5月・8月・11月・1月）ふじえだ市議会だよりを発行しています。開かれた議会を目指し、より市民に親しまれる「ふじえだ市議会だより」にするため、表紙の写真を募集します。

● 募集する写真・イラスト等

- **写真の場合**…市内で撮影された人物・四季折々の風景・まつり・学校行事・地域行事等の各種イベントの写真
- **イラストの場合**…市内在住、通勤、通学の方が作成したイラスト等

● 応募方法

住所・氏名・電話番号・写真の場合（撮影場所・撮影日時を記入の上）、議会事務局へメール、もしくは郵送・持参してください。

● 応募上の条件

- **写真の場合**…市内で撮影されたもの。
- **イラストの場合**…市内在住、通勤、通学の方が作成したイラスト等
- 被写体が人物の場合又は個人の所有物である場合は、必ず被写体ご本人（未成年者の場合は保護者）又は、所有者の承諾を得てください。

- 採用作品の著作権は、市議会に帰属するものとします。
- ご応募いただいた写真は原則返却いたしませんので、予めご了承ください。

● 選考方法

市議会広報広聴委員会で決定し、掲載します。

● 応募の締め切り

1月20日号の締め切り⇒令和元年12月17日(火)

※詳細について、藤枝市議会ホームページをご覧ください。

お問い合わせ

藤枝市議会事務局（市議会広報広聴委員会）
住所：〒426-8722 藤枝市岡出山1-11-1
電話：054-643-3552
メール：gikai@city.fujieda.shizuoka.jp



編集後記

本号より、「ふじえだ市議会だより」の題字が変わりました！

これは、昨年度末に市議会だよりの刷新を図る為に協議を重ね、主権者教育の観点からも興味を持っていただけるように、市内の中学生より題字を募ったところ、藤枝中学校の望月保乃花さんより応募があり採用させていただきました。

本市の花である「藤」をモチーフにしたデザインとサッカーのイラストが、本市を象徴する素晴らしい作品となっています。

「選ばれ続けるまちふじえだ」にふさわしい市議会だよりを目指して、これからも変わり続けてまいります。

（広報広聴委員長 山本信行）

